

ディプロマポリシー		<ul style="list-style-type: none"> 電気電子工学に関する基礎的理論と複合的な専門的知識、さらに応用技術まで幅広く理解し、広い視点と倫理性に基づいて、先端技術動向やニーズを踏まえた総合的な判断力によって研究の実践、課題解決ができる。 電気電子工学に関する専門的技術を有し、技術的課題解決のため、他者との協働、外国語を含めたコミュニケーションやプレゼンテーションができる。 										101 単位									
配当単位数合計		13 単位			20 単位			配当単位数合計		16 単位		10 単位	12 単位	6 単位	8 単位	8 単位	8 単位	101 単位			
M2 M1	前期・後期	● 必修科目		グローバルテクノロジー特論b 1		エンジニアリング・コミュニケーション特論 1		M2 M1	前期・後期	有機エレクトロニクス特論 2		ソフトウェア特論 2		エネルギー・環境工学特論 2				101 単位			
		□ 不問講科目		材料・デバイス開発実務特論 3		ロボティクス特論 2				CAD/CAM特論 2		半導体エレクトロニクス特論 2		通信システム・方式特論 2		電力工学特論 2					
分野		数理科目		学際科目		専門横断		分野		光・エレクトロニクス		情報・通信		エネルギー・機器		制御・システム		材料・機械工学			
カリキュラムポリシー		<ul style="list-style-type: none"> 「専門」に「エレクトロニクス・情報分野」、「電機・制御分野」を置き、学士課程教育で培ったエンジニアとしての能力をさらに高度化する。また、高度な基礎理論から最新の応用技術にわたる幅広い専門知識と先端技術のみならず、最新の専門的理論や最先端の応用技術を体系的に修得する。同時に国内外の関連する文献を調査・要約・整理してまとめた内容的確に伝達する能力を養成するとともに、国内外での研究発表を通じて、自身の考えや研究成果を的確に伝達して議論できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身に付ける。 「専門横断」では、研究分野の専門知識・技能を深めるとともに、他の工学分野と共通する工学知識や技術を修得する。 「共通横断」では数理分野、語学から社会倫理におよぶ幅広い知識を修得することにより、ユニバーサルな観点にたった的確なものの見方と考え方を確立する。 																	年間履修上限単位数なし		
アドミッションポリシー		<p>「エレクトロニクス・情報分野」「電機・制御分野」において、高度な専門知識やスキルを駆使し、また、機械工学の知識を加味することで、社会・産業界が求める最新の技術開発ができる高度な技術者を養成する。また、社会貢献するという強い意志と自身の考えに基づいて解決能力を持って、それを実現するために努力を惜しむことなく邁進できる学生を求めている。</p> <p>〈求める人物像〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「エレクトロニクス・情報分野」、「電機・制御分野」の基礎と応用技術を修得し、新しい技術開発に携わり、積極的に社会貢献したいと考えている人 自然環境との共生を伴った社会の発展のために、自ら努力して成長していく意欲のある人 人間的な成長および自己実現をめざす向上心を持ち、共同作業の重要性を認識し実行できる人 																			
ディプロマポリシー		<p>4年以上在学して所定の単位を修得し、授業や卒業研究を通じて、下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定し、学士(工学)の学位を授与する。</p> <p>＜工学部＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 実践力のある専門的技術者となるべく、在学中だけでなく生涯にわたって主体的に学習活動を積み重ねる関心と意欲を保持できる。〔関心・意欲〕【主体的に生涯学習を継続する意欲と関心】 人文社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身につけそれらを活用できる。〔知識・理解・技能〕【技術者に求められる文・理・情報系の素養】 専門分野の知識・技術を体系的に理解し、社会や時代の要請に応じてそれらを実践的に適用できる。〔理解・応用・技能〕【専門分野の知識・技術(詳細は学科DP)】 技術者および社会人としてふさわしいコミュニケーション能力を備え、他者の意見・意向を正確に把握するとともに、自らの意見・意向を的確に表現し、相互理解のもとで議論することができる。〔協働・表現〕【相互に理解し議論するコミュニケーション能力】 社会的な課題の解決に向けて、他者と積極的に協働して取り組むことができる。〔意欲・協働〕【他者との協働による課題解決力】 地球的な視野に立ち、持続的な社会の維持・発展に向けた技術者としての使命感や倫理観を備え、社会に能動的に貢献する行動ができる。〔理解・応用・倫理〕【社会に対し能動的に貢献する行動力】 <p>◆注: 「3」を明確化したものが、各学科のDPとなる</p> <p>＜電気電子システム工学部＞</p> <p>電気電子システム工学部では、工学部ディプロマ・ポリシーに基づき、専門学術の基礎と実践力を醸成できるよう、学科として下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定する。</p> <p>(A) 社会で必要とされるエンジニアとしての基礎力である数学・自然科学の基礎知識と電気電子工学分野の基礎知識に習熟しそれらを活用することができる。〔基礎学力〕【基礎学力】</p> <p>(B) 電気電子システム工学の基礎知識を活かし、技術的な課題を抽出し解決に導くことができる。〔知識・理解・論理的思考力〕【知識・理解・論理的思考力】</p> <p>(C) 理論的な思考に基づき自分の意見を明確に発表でき、他者との討論を通じて互いの意見を理解しながらチームで課題解決の作業をすすめることができる。〔コミュニケーション能力〕【コミュニケーション能力】</p> <p>(D) 持続可能な社会を実現するために、未知の課題に対応できるよう、幅広い学修経験に基づいて自主継続的に学修することができる。〔継続学修〕【継続学修】</p> <p>(E) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、および技術者が社会に対して負う使命や倫理的責任に基づいて行動することができる。〔技術者倫理〕【技術者倫理】</p>																			
分野別到達目標		グローバル化の時代に対応でき社会人の役割を担うために、広い視野の人文的教養を身につけ、物事をとらえ、判断力と、言語的知識を活用した円滑なコミュニケーション力が発揮できるとともに、心身の健康を維持し、持続可能な社会を実現する。		学術的知識を社会に積極的に活用できる基礎的教養・能力として、数学・物理など自然科学関連の基礎知識を解・応用し、自然現象との共生や生活にわたる問題・課題があるとともに、高い人間性を備えた社会の発展に寄与する思考・判断力がある。		グローバル化の時代に対応できる社会の基礎的教養・能力を、工学の観点から社会的に活用できる基礎的知識・技能を、より実践的な活動環境で獲得できる。		問題の提起、解決法の探求、実験的検証に至るまでの方法論を提案でき、アナログ回路からデジタル回路に至るまでの各種電子回路の計算ができる能力を身につけている。		諸定理を用いて電気回路の回路計算ができ、アナログ回路からデジタル回路に至るまでの各種電子回路の計算ができる能力を身につけている。		電子・光デバイスの動作原理や理論を理解し、これを作製したり特性の計測などに応用する能力を身につけている。		電気機器の構造や動作原理を理解し、発電・送電ならびにエネルギー変換の幅広い分野において電気を活用できる能力を身につけている。		ソフトウェア・ハードウェアの基礎を理解でき、コンピュータシステムや通信システムの専門基礎のほか、制御工学を組み合わせて多面的に活用できる能力を身につけている。		卒業に必要な単位数124単位			
配当単位数合計		-			-			配当単位数合計		22 単位		11 単位	16 単位	14 単位	18 単位	20 単位	101 単位				
2 3 4	前期・後期	哲学(2)		微分方程式Ⅰ(2)		線形代数Ⅰ(2)		インターンシップ(2)		卒業研究		オプトエレクトロニクス 2		電気応用 2		ロボット工学 2		18 単位			
		倫理学(2)		微分方程式Ⅱ(2)		線形代数Ⅱ(2)				電機設計/CAD製図 2		センサ工学 2		電力システムⅡ 2		アンテナ・伝送工学 2					
1	前期・後期	英米史(2)		物理学Ⅰ(2)		複素解析Ⅰ(2)				工学研究基礎 2		電気電子システム実験c 3		電力システムⅠ 2		エネルギー変換工学 2		46 単位			
		文学(2)		物理学Ⅱ(2)		複素解析Ⅱ(2)				技術者倫理 2		電気電子システム実験b 3		電力システムⅡ 2		制御工学Ⅱ 2					
分野		キャリア形成の基礎		工学の基礎		数理学と教育		その他連携科目		電気電子基礎		実験・演習・設計		電気電子回路		材料・物性・デバイス		エネルギー・電気機器		システム科学・通信	
カリキュラムポリシー		<p>工学部ディプロマ・ポリシーに到達する能力を備えた人材を育成するために、以下のような方針に基づいて必要な科目を開設し、学習者が主体的に学修できる科目群を確保し、それらを通じて、科目間の連携もあつた体系的なカリキュラムを編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 人文科学、自然科学、情報技術、教育・アカウンタンス、経営、知能情報および環境共生などに関する科目によって、技術者に求められる幅広い教養を養う。 2) 基礎と応用教育によって、高度な基礎的知識とコミュニケーション能力を養成する。 3) 必修・選択(選択必修を含む)科目によって、専門分野の知識を体系的に身に付け、特に重要な科目については、履修機会を確保して保証する。 4) 実験・演習・探究教育(Project Based Learning, PBL)科目によって、自習的・能動的に学修する能力、理論的思考力ならびにコミュニケーション能力や協働への意識を養う。 5) 協働学習型科目によって、協働して学修するための協働型学習環境を整える。 6) 学士課程教育の基盤として卒業研究によって、論文をまとめる論理的思考力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力と、実践力のある専門的技術者として必要な能力を養う。 <p>◆注: 「3」(4) (5) (6) を明確化したものが、各学科のDPとなる</p>																	年間履修上限単位数44単位		
アドミッションポリシー		<p>電気電子システム工学部は、今日の電気・電子工学の進歩に対応でき、明日の電気・電子工学を開拓できる知識と実践力を持つエンジニアを世に送り出すことを目的としています。電気・電子工学は目覚ましい発展を遂げその領域も多岐にわたり、単なる一分野の専門知識だけでは不十分で、今後は幅広い専門分野の知識がますます重要となります。さらには、人や環境に調和した技術の開発が求められています。</p> <p>〈求める人物像〉</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 広く電気・電子工学に興味を有する人で、行動力のある実践的なエンジニアをめざす人 (2) これまでに学んできた知識を進化させて「ものづくり」に応用する意欲のある人 (3) 人や地球環境に配慮した工学技術に興味を持ち、持続可能な社会の発展に貢献する技術者をめざす向上心のある人 																			

ディプロマポリシー		<ul style="list-style-type: none"> 電気電子工学に関する基礎的理論と複合的な専門的知識、さらに応用技術までを幅広く理解し、広い視点と倫理性に基づいて、先端技術動向やニーズを踏まえた総合的な判断力によって研究の実践、課題解決ができる。 電気電子工学に関する専門的技術を有し、技術的課題解決のため、他者との協働、外国語を含めたコミュニケーションやプレゼンテーションができる。 																										
配当単位数合計		13単位			20単位			配当単位数合計		14単位		10単位		10単位		6単位		8単位		6単位		8単位		95単位				
M2 M1		●：必修科目		グローバルテクノロジー特論b 1		材料・デバイス開発実務特論 3		グローバルテクノロジー特論a 1		ロボティクス特論 2		CAD/CAM特論 2		M2 M1		エネルギー・環境工学特論		ソフトウェア特論 2		パルスパワー工学特論 2		電力工学特論 2		材料設計工学特論 2		加工工学特論 2		95単位
分野		数理解科目		学際科目		専門横断		分野		光・エレクトロニクス		情報・通信		エネルギー・機器		制御・システム		材料・機械工学		熱・流体		設計・製作		年間履修士数 単位数なし				
カリキュラムポリシー		<ul style="list-style-type: none"> 「専門」に「エレクトロニクス・情報分野」、「電機・制御分野」を置き、学士課程教育で培ったエンジニアとしての能力をさらに高度化する。また、高度な基礎理論から最新の応用技術にわたる幅広い専門知識と先端技術のみならず、最新の専門的理論や最先端の応用技術を体系的に修得する。同時に国内外の関連する文献を調査・要約・整理してまとめた内容を的確に伝達する能力を養成するとともに、国内外での研究発表を通じて、自身の考えや研究成果を的確に伝達して議論できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身に付ける。 「専門横断」では、研究分野の専門知識・技能を深めるとともに、他の工学分野と共通する工学知識や技術を修得する。 「共通横断」では数理解分野、語学から社会倫理におよぶ幅広い知識を修得することにより、ユニバーサルな観点に立った的確なものの見方と考え方を確立する。 																										
アドミッションポリシー		<p>「エレクトロニクス・情報分野」「電機・制御分野」において、高度な専門知識やスキルを駆使し、また、機械工学の知識を加味することで、社会・産業界が求める最新の技術開発ができる高度な技術者を養成する。また、社会貢献するという強い意志と自身の考えに基づいて解決能力を持って、それを実現するために努力を惜むことなく邁進できる学生を求めている。</p> <p>(求める人物像)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「エレクトロニクス・情報分野」、「電機・制御分野」の基礎と応用技術を修得し、新しい技術開発に携わり、積極的に社会貢献したいと考えている人 自然環境との共生を伴った社会の発展のために、自ら努力して成長していく意欲のある人 人間的な成長および自己実現をめざす向上心もち、共同作業の重要性を認識し実行できる人 																										
ディプロマポリシー		<p>4年以上在学して所定の単位を修得し、授業や卒業研究を通じて、下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定し、学士(工学)の学位を授与する。</p> <p>＜工学部＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 実践力のある専門的技術者となるべく、在学中だけでなく生涯にわたって主体的に学習活動を積み重ねる関心と意欲を持続できる。【関心・意欲】【主体的に生涯学習を継続する意欲と関心】 人文社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身に付けそれらを活用できる。【知識・理解・技能】【技術者に求められる文・理・情報系の素養】 専門分野の知識・技術を体系的に理解し、社会や時代の要請に応じてそれらを実践的に活用できる。【理解・応用・技能】【専門分野の知識・技術（詳細は学科DP）】 技術者および社会人としてふさわしいコミュニケーション能力を備え、他者の意見・意向を正確に把握するとともに、自らの意見・意向を的確に表現し、相互理解のもとで議論することができる。【協働・表現】【相互に理解し議論するコミュニケーション能力】 社会的な課題の解決に向けて、他者と積極的に協働して取り組むことができる。【意欲・協働】【他者との協働による課題解決力】 地球的な視野に立ち、持続的な社会の維持・発展に向けた技術者としての使命感や倫理観を備え、社会に能動的に貢献する行動ができる。【理解・応用・倫理】【社会に対し能動的に貢献する行動力】 <p>◆注：「3」を明確化したものが、各学科のDPとなる</p> <p>＜電気電子システム工学科＞</p> <p>電気電子システム工学科では、工学部ディプロマ・ポリシーに基づき、専門学術の基礎と実践力を継承できるよう、学科として下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定する。</p> <p>(A) 社会で必要とされるエンジニアとしての基礎力である数学・自然科学の基礎知識と電気電子工学分野の基礎知識に習熟しそれらを活用することができる。【基礎学力】</p> <p>(B) 電気電子システム工学の基礎知識を活かし、技術的な課題を抽出し解決に導くことができる。【知識・理解・論理的思考力】【知識・理解・論理的思考力】</p> <p>(C) 理論的な思考に基づき自分の意見を明確に発表でき、他者との討論を通じて互いの意見を理解しながらチームで課題解決の作業をすすめることができる。【コミュニケーション能力】【コミュニケーション能力】</p> <p>(D) 持続可能な社会を実現するために、未知の課題に対応できるよう、幅広い学習経験に基づいて自主継続的に学習することができる。【継続学習】</p> <p>(E) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、および技術者が社会に対して負う使命と倫理的責任に基づいて行動することができる。【技術者倫理】【技術者倫理】</p> <p style="text-align: right;">【 】はディプロマ・サブリメントシステムにおける表示</p>																										
分野別到達目標		グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力として、広い視野の人文的教養にもとづき、理解力と、言語の基礎的知識を正確に活用できるコミュニケーション能力を身に付けることにより、自身の成長を継続推進する方向を画定している。		工学の観点から社会を積極的に発展させる基礎的素養・能力として、数学・物理や他の自然科学知識の基礎知識を理解し、応用し、自ら課題解決のための活動において思考・判断ができることにより、実践的に他者と協働するなかで専門分野における学習意欲を推進する。		数学や他の自然科学知識のより総合的な知識を理解し、応用できるとともに、高い人間性を備え社会の発展に寄与する思考・判断ができることにより、実践的に他者と協働して発展する。		グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力と、工学の観点から社会を積極的に発展させる基礎的素養・能力を身に付けることにより、実践的に他者と協働して発展する。		分野別到達目標		電気回路および電磁気学の基本を理解し、数式を用いて表現でき、さまざまな各種演習技術を駆使して電気・電子工学における諸問題を克服できる力を身に付けている。		問題の提起、解決法の探求、実験的検証などによる方法論を提案でき、さらには各レベルの技術の開発へと展開できる能力を身に付けている。		論理を用いて電気回路の回路計算ができる。アナログ回路からデジタル回路に至るまでの各種電子回路の計算ができる能力を身に付けている。		電子・光デバイスの動作原理や理論を理解し、これを作成したり特性の計測などに応用する能力を身に付けている。		電気機器の構造や動作原理を理解し、発電・送配電ならびにエネルギー変換の幅広い分野において電気を活用できる能力を身に付けている。		ソフトウェア・ハードウェアの基礎を理解できおり、計算機システムや通信システムの専門基礎のほか、制御工学を組み合わせる多面的に活用できる能力を身に付けている。		卒業に必要な単位数 124単位				
配当単位数合計		-			-			配当単位数合計		18単位		13単位		16単位		14単位		18単位		20単位		99単位						
進年		1		2		3		4		卒業研究		16単位																
前期・後期		1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		48単位				
前期・後期		1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		25単位				
前期・後期		1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		10単位				
分野		キャリア形成の基礎		工学の基礎		数理解科目と教育		その他連携科目		分野		電気電子基礎		実験・演習・設計		電気電子回路		材料・物性・デバイス		エネルギー・電気機器		システム科学・通信		年間履修士数 単位数				
カリキュラムポリシー		電気電子システム工学科は、今日の電気・電子工学の進歩に対応でき、明日の電気・電子工学を開拓できる知識と実践力を持つエンジニアを世に送り出すことを目的としています。電気・電子工学は目覚ましい発展を遂げてその領域も多岐にわたり、単なる一分野の専門知識だけでは不十分で、今後は幅広い専門分野の知識がますます重要となります。さらには、人や環境に調和した技術の開発が求められています。		電気電子システム工学科は、今日の電気・電子工学の進歩に対応でき、明日の電気・電子工学を開拓できる知識と実践力を持つエンジニアを世に送り出すことを目的としています。電気・電子工学は目覚ましい発展を遂げてその領域も多岐にわたり、単なる一分野の専門知識だけでは不十分で、今後は幅広い専門分野の知識がますます重要となります。さらには、人や環境に調和した技術の開発が求められています。		電気電子システム工学科は、今日の電気・電子工学の進歩に対応でき、明日の電気・電子工学を開拓できる知識と実践力を持つエンジニアを世に送り出すことを目的としています。電気・電子工学は目覚ましい発展を遂げてその領域も多岐にわたり、単なる一分野の専門知識だけでは不十分で、今後は幅広い専門分野の知識がますます重要となります。さらには、人や環境に調和した技術の開発が求められています。		電気電子システム工学科は、今日の電気・電子工学の進歩に対応でき、明日の電気・電子工学を開拓できる知識と実践力を持つエンジニアを世に送り出すことを目的としています。電気・電子工学は目覚ましい発展を遂げてその領域も多岐にわたり、単なる一分野の専門知識だけでは不十分で、今後は幅広い専門分野の知識がますます重要となります。さらには、人や環境に調和した技術の開発が求められています。		電気電子システム工学科は、今日の電気・電子工学の進歩に対応でき、明日の電気・電子工学を開拓できる知識と実践力を持つエンジニアを世に送り出すことを目的としています。電気・電子工学は目覚ましい発展を遂げてその領域も多岐にわたり、単なる一分野の専門知識だけでは不十分で、今後は幅広い専門分野の知識がますます重要となります。さらには、人や環境に調和した技術の開発が求められています。		電気電子システム工学科は、今日の電気・電子工学の進歩に対応でき、明日の電気・電子工学を開拓できる知識と実践力を持つエンジニアを世に送り出すことを目的としています。電気・電子工学は目覚ましい発展を遂げてその領域も多岐にわたり、単なる一分野の専門知識だけでは不十分で、今後は幅広い専門分野の知識がますます重要となります。さらには、人や環境に調和した技術の開発が求められています。		電気電子システム工学科は、今日の電気・電子工学の進歩に対応でき、明日の電気・電子工学を開拓できる知識と実践力を持つエンジニアを世に送り出すことを目的としています。電気・電子工学は目覚ましい発展を遂げてその領域も多岐にわたり、単なる一分野の専門知識だけでは不十分で、今後は幅広い専門分野の知識がますます重要となります。さらには、人や環境に調和した技術の開発が求められています。		電気電子システム工学科は、今日の電気・電子工学の進歩に対応でき、明日の電気・電子工学を開拓できる知識と実践力を持つエンジニアを世に送り出すことを目的としています。電気・電子工学は目覚ましい発展を遂げてその領域も多岐にわたり、単なる一分野の専門知識だけでは不十分で、今後は幅広い専門分野の知識がますます重要となります。さらには、人や環境に調和した技術の開発が求められています。		電気電子システム工学科は、今日の電気・電子工学の進歩に対応でき、明日の電気・電子工学を開拓できる知識と実践力を持つエンジニアを世に送り出すことを目的としています。電気・電子工学は目覚ましい発展を遂げてその領域も多岐にわたり、単なる一分野の専門知識だけでは不十分で、今後は幅広い専門分野の知識がますます重要となります。さらには、人や環境に調和した技術の開発が求められています。		電気電子システム工学科は、今日の電気・電子工学の進歩に対応でき、明日の電気・電子工学を開拓できる知識と実践力を持つエンジニアを世に送り出すことを目的としています。電気・電子工学は目覚ましい発展を遂げてその領域も多岐にわたり、単なる一分野の専門知識だけでは不十分で、今後は幅広い専門分野の知識がますます重要となります。さらには、人や環境に調和した技術の開発が求められています。		電気電子システム工学科は、今日の電気・電子工学の進歩に対応でき、明日の電気・電子工学を開拓できる知識と実践力を持つエンジニアを世に送り出すことを目的としています。電気・電子工学は目覚ましい発展を遂げてその領域も多岐にわたり、単なる一分野の専門知識だけでは不十分で、今後は幅広い専門分野の知識がますます重要となります。さらには、人や環境に調和した技術の開発が求められています。		電気電子システム工学科は、今日の電気・電子工学の進歩に対応でき、明日の電気・電子工学を開拓できる知識と実践力を持つエンジニアを世に送り出すことを目的としています。電気・電子工学は目覚ましい発展を遂げてその領域も多岐にわたり、単なる一分野の専門知識だけでは不十分で、今後は幅広い専門分野の知識がますます重要となります。さらには、人や環境に調和した技術の開発が求められています。		年間履修士数 単位数 44単位		
アドミッションポリシー		<p>電気電子システム工学科は、今日の電気・電子工学の進歩に対応でき、明日の電気・電子工学を開拓できる知識と実践力を持つエンジニアを世に送り出すことを目的としています。電気・電子工学は目覚ましい発展を遂げてその領域も多岐にわたり、単なる一分野の専門知識だけでは不十分で、今後は幅広い専門分野の知識がますます重要となります。さらには、人や環境に調和した技術の開発が求められています。</p> <p>(求める人物像)</p> <ol style="list-style-type: none"> 広く電気・電子工学に興味を有する人で、行動力のある実践的なエンジニアをめざす人 これまでに学んできた知識を進化させて「ものづくり」に応用する意欲のある人 人や地球環境に配慮した工学技術に興味を持ち、持続可能な社会の発展に貢献する技術者をめざす向上心のある人 																										

ディプロマポリシー		<ul style="list-style-type: none"> 電気電子工学に関する基礎理論と複合的な専門知識、さらに応用技術まで幅広く理解し、広い視点と倫理性に基づいて、先端技術動向やニーズを踏まえた総合的な判断力によって研究の実践、課題解決ができる。 電気電子工学に関する専門的知識を有し、技術的課題解決のため、他者との協働、外国語を含めたコミュニケーションやプレゼンテーションができる。 												95 単位																																																																																																							
配当単位数合計		13 単位			20 単位			配当単位数合計		14 単位		10 単位		10 単位		6 単位		8 単位		6 単位		8 単位		95 単位																																																																																													
M2 M1		<ul style="list-style-type: none"> ●: 必修科目 <table border="1"> <tr> <td>グローバルテクノロジー特論b</td><td>1</td> <td>材料・デバイス開発実務特論</td><td>3</td> <td>ロボティクス特論</td><td>2</td> <td>エレクトロニクス・コミュニケーション特論</td><td>1</td> <td>CAD/CAM特論</td><td>2</td> <td>半導体エレクトロニクス特論</td><td>2</td> <td>ソフトウェア特論</td><td>2</td> <td>パルスパワー工学特論</td><td>2</td> <td>電力工学特論</td><td>2</td> <td>材料設計工学特論</td><td>2</td> <td>加工工学特論</td><td>2</td> </tr> <tr> <td>グローバルテクノロジー特論a</td><td>1</td> <td>技術経営特論</td><td>2</td> <td>航空宇宙工学特論</td><td>2</td> <td>自動車工学特論</td><td>2</td> <td>グローバルプレゼンテーション</td><td>2</td> <td>表示デバイス工学特論</td><td>2</td> <td>光機工学特論</td><td>2</td> <td>通信システム・方式特論</td><td>2</td> <td>パワーエレクトロニクス特論</td><td>2</td> <td>最適システム工学特論</td><td>2</td> <td>振動工学特論</td><td>2</td> <td>内燃機関特論</td><td>2</td> <td>機械制御特論</td><td>2</td> </tr> <tr> <td>応用数学特論</td><td>2</td> <td>技術経営特論</td><td>2</td> <td>国際ナショナルプレゼンテーション</td><td>1</td> <td>グローバルリーダーシップ特論</td><td>2</td> <td>電子物性特論</td><td>2</td> <td>集積回路設計特論</td><td>2</td> <td>情報工学特論</td><td>2</td> <td>メカトロニクス特論</td><td>2</td> <td>システム制御工学特論</td><td>2</td> <td>材料実験力学特論</td><td>2</td> <td>流体工学特論</td><td>2</td> <td>接合工学特論</td><td>2</td> </tr> <tr> <td>応用物理学特論</td><td>2</td> <td>外国語特論</td><td>2</td> <td>フィールド研究</td><td>4</td> <td>フィールドプラクティス</td><td>4</td> <td>情報・通信</td><td></td> <td>エネルギー・機器</td><td></td> <td>制御・システム</td><td></td> <td>材料・機械工学</td><td></td> <td>熱・流体</td><td></td> <td>設計・製作</td><td></td> </tr> </table>												グローバルテクノロジー特論b	1	材料・デバイス開発実務特論	3	ロボティクス特論	2	エレクトロニクス・コミュニケーション特論	1	CAD/CAM特論	2	半導体エレクトロニクス特論	2	ソフトウェア特論	2	パルスパワー工学特論	2	電力工学特論	2	材料設計工学特論	2	加工工学特論	2	グローバルテクノロジー特論a	1	技術経営特論	2	航空宇宙工学特論	2	自動車工学特論	2	グローバルプレゼンテーション	2	表示デバイス工学特論	2	光機工学特論	2	通信システム・方式特論	2	パワーエレクトロニクス特論	2	最適システム工学特論	2	振動工学特論	2	内燃機関特論	2	機械制御特論	2	応用数学特論	2	技術経営特論	2	国際ナショナルプレゼンテーション	1	グローバルリーダーシップ特論	2	電子物性特論	2	集積回路設計特論	2	情報工学特論	2	メカトロニクス特論	2	システム制御工学特論	2	材料実験力学特論	2	流体工学特論	2	接合工学特論	2	応用物理学特論	2	外国語特論	2	フィールド研究	4	フィールドプラクティス	4	情報・通信		エネルギー・機器		制御・システム		材料・機械工学		熱・流体		設計・製作		95 単位											
グローバルテクノロジー特論b	1	材料・デバイス開発実務特論	3	ロボティクス特論	2	エレクトロニクス・コミュニケーション特論	1	CAD/CAM特論	2	半導体エレクトロニクス特論	2	ソフトウェア特論	2	パルスパワー工学特論	2	電力工学特論	2	材料設計工学特論	2	加工工学特論	2																																																																																																
グローバルテクノロジー特論a	1	技術経営特論	2	航空宇宙工学特論	2	自動車工学特論	2	グローバルプレゼンテーション	2	表示デバイス工学特論	2	光機工学特論	2	通信システム・方式特論	2	パワーエレクトロニクス特論	2	最適システム工学特論	2	振動工学特論	2	内燃機関特論	2	機械制御特論	2																																																																																												
応用数学特論	2	技術経営特論	2	国際ナショナルプレゼンテーション	1	グローバルリーダーシップ特論	2	電子物性特論	2	集積回路設計特論	2	情報工学特論	2	メカトロニクス特論	2	システム制御工学特論	2	材料実験力学特論	2	流体工学特論	2	接合工学特論	2																																																																																														
応用物理学特論	2	外国語特論	2	フィールド研究	4	フィールドプラクティス	4	情報・通信		エネルギー・機器		制御・システム		材料・機械工学		熱・流体		設計・製作																																																																																																			
分野		共通横断			専門横断			光・エレクトロニクス		情報・通信		エネルギー・機器		制御・システム		材料・機械工学		熱・流体		設計・製作		年間履修上限単位数なし																																																																																															
カリキュラムポリシー		<ul style="list-style-type: none"> 「専門」に「エレクトロニクス・情報分野」、「電機・制御分野」を置き、学士課程教育で培ったエンジニアとしての能力をさらに高度化する。また、高度な基礎理論から最新の応用技術にわたる幅広い専門知識と先端技術のみならず、最新の専門的理論や最先端の応用技術を体系的に修得する。同時に国内外の関連する文献を調査・要約・整理してまとめた内容を的確に伝達する能力を養成するとともに、国内外での研究発表を通じて、自身の考えや研究成果を的確に伝達して議論できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身に付ける。 「専門横断」では、研究分野の専門知識・技術を深めるとともに、他の工学分野と共通する工学知識や技術を修得する。 「共通横断」では数理科目、語学から社会倫理におよぶ幅広い知識を修得することにより、ユニバーサルな観点に立った的確なものの見方と考え方を確立する。 																																																																																																																			
アドミッションポリシー		<p>「エレクトロニクス・情報分野」「電機・制御分野」において、高度な専門知識やスキルを駆使し、また、機械工学の知識を加味することで、社会・産業界が求める最新の技術開発ができる高度な技術者を養成する。また、社会貢献するという強い意志と自身の考えに基づいて解決能力を持って、それを実現するために努力を惜しむことなく邁進できる学生を求めている。</p> <p>〈求める人物像〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「エレクトロニクス・情報分野」、「電機・制御分野」の基礎と応用技術を修得し、新しい技術開発に携わり、積極的に社会貢献したいと考えている人 自然環境との共生を伴った社会の発展のために、自ら努力して成長していく意欲のある人 人間的な成長および自己実現をめざす向上心をもち、共同作業の重要性を認識し実行できる人 																																																																																																																			
ディプロマポリシー		<p>4年以上在学して所定の単位を修得し、授業や卒業研究を通じて、下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定し、学士(工学)の学位を授与する。</p> <p>＜工学部＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 実践力のある専門的技術者となるべく、在学中だけでなく生涯にわたって主体的に学習活動を積み重ねる関心と意欲を持続できる。〔関心・意欲〕【主体的に生涯学習を継続する意欲と関心】 人文社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身につけそれらを活用できる。〔知識・理解〕【技術者に求められる文・理・情報系の素養】 専門分野の知識・技術を体系的に理解し、社会や時代の要請に応じてそれらを実践的に活用できる。〔理解・応用・技能〕【専門分野の知識・技術（詳細は学科DP）】 技術者および社会としてふさわしいコミュニケーション能力を備え、他者の意見・意向を正確に把握するとともに、自らの意見・意向を的確に表現し、相互理解のもとで議論することができる。〔協働・表現〕【相互に理解し議論するコミュニケーション能力】 社会的な課題の解決に向けて、他者と積極的に協働して取り組むことができる。〔意欲・協働〕【他者との協働による課題解決力】 地球規模の視野に立ち、持続可能な社会の維持・発展に向けた技術者としての使命感や倫理観を備え、社会に能動的に貢献する行動ができる。〔理解・応用・倫理〕【社会に対し能動的に貢献する行動力】 <p>◆注：「3」を明確化したものが、各学科のDPとなる</p> <p>＜電気電子システム工学科＞</p> <p>電気電子システム工学科では、工学部ディプロマ・ポリシーに基づき、専門分野の基礎と実践力を継続できるよう、学科として下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定する。</p> <p>(A) 社会で必要とされるエンジニアとしての基礎力である数学・自然科学の基礎知識と電気電子工学分野の基礎知識に習熟しそれらを活用することができる。【基礎学力】</p> <p>(B) 電気電子システム工学の基礎知識を活かし、技術的な課題を抽出し解決に導くことができる。〔知識・理解・論理的思考力〕【知識・理解・論理的思考力】</p> <p>(C) 理論的な思考に基づき自分の意見を明確に発表でき、他者との討論を通じて互いの意見を理解しながらチームで課題解決の作業をすすめることができる。〔コミュニケーション能力〕【コミュニケーション能力】</p> <p>(D) 持続可能な社会を実現するために、未知の課題に対応できるよう、幅広い学習経験に基づいて自主継続的に学習することができる。〔継続学習〕【継続学習】</p> <p>(E) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、および技術者が社会に対して負う使命と倫理的責任に基づいて行動することができる。〔技術者倫理〕【技術者倫理】</p>																																																																																																																			
分野別到達目標		卒業に必要な単位数 124 単位		卒業に必要な単位数 46 単位		卒業に必要な単位数 25 単位		卒業に必要な単位数 12 単位		卒業に必要な単位数 44 単位		卒業に必要な単位数 44 単位																																																																																																									
配当単位数合計		18 単位			13 単位			16 単位			14 単位			18 単位			20 単位			99 単位																																																																																																	
通年		卒業研究												16 単位		46 単位		25 単位		12 単位																																																																																																	
前期・後期		<table border="1"> <tr> <td>電機設計/CAD製図</td><td>2</td> <td>センサ工学</td><td>2</td> <td>電気応用</td><td>2</td> <td>ロボット工学</td><td>2</td> </tr> <tr> <td>LSI工学</td><td>2</td> <td>電力システムII</td><td>2</td> <td>アンテナ・伝送工学</td><td>2</td> <td>電波・通信法規</td><td>2</td> </tr> <tr> <td>電気電子システムPBL</td><td>2</td> <td>電力システムI</td><td>2</td> <td>エネルギー変換工学</td><td>2</td> <td>電気法規および施設管理</td><td>2</td> </tr> <tr> <td>電気電子システム実験c</td><td>3</td> <td>エネルギー変換工学</td><td>2</td> <td>電気法規および施設管理</td><td>2</td> <td>制御工学II</td><td>2</td> </tr> <tr> <td>電気電子システム実験b</td><td>3</td> <td>電子物性論</td><td>2</td> <td>電気法規および施設管理</td><td>2</td> <td>情報通信工学</td><td>2</td> </tr> <tr> <td>アナログ電子回路</td><td>2</td> <td>パワーエレクトロニクス</td><td>2</td> <td>電気法規および施設管理</td><td>2</td> <td>ネットワーク工学</td><td>2</td> </tr> <tr> <td>電子回路工学II</td><td>2</td> <td>プラズマエレクトロニクス</td><td>2</td> <td>電気法規および施設管理</td><td>2</td> <td>電機システムII</td><td>2</td> </tr> <tr> <td>電気回路IV</td><td>2</td> <td>オプトエレクトロニクス</td><td>2</td> <td>電気法規および施設管理</td><td>2</td> <td>計算機ソフトウェア</td><td>2</td> </tr> <tr> <td>デジタル電子回路</td><td>2</td> <td>高電圧・パルスパワー工学</td><td>2</td> <td>電気法規および施設管理</td><td>2</td> <td>計算機ハードウェア</td><td>2</td> </tr> <tr> <td>電子回路工学I</td><td>2</td> <td>電子デバイス工学</td><td>2</td> <td>電気法規および施設管理</td><td>2</td> <td>システム工学</td><td>2</td> </tr> <tr> <td>電気回路III</td><td>2</td> <td>電気電子材料</td><td>2</td> <td>電気法規および施設管理</td><td>2</td> <td></td><td></td> </tr> <tr> <td>電気回路II</td><td>2</td> <td></td><td></td> <td></td><td></td> <td></td><td></td> </tr> <tr> <td>電気回路I</td><td>2</td> <td></td><td></td> <td></td><td></td> <td></td><td></td> </tr> </table>												電機設計/CAD製図	2	センサ工学	2	電気応用	2	ロボット工学	2	LSI工学	2	電力システムII	2	アンテナ・伝送工学	2	電波・通信法規	2	電気電子システムPBL	2	電力システムI	2	エネルギー変換工学	2	電気法規および施設管理	2	電気電子システム実験c	3	エネルギー変換工学	2	電気法規および施設管理	2	制御工学II	2	電気電子システム実験b	3	電子物性論	2	電気法規および施設管理	2	情報通信工学	2	アナログ電子回路	2	パワーエレクトロニクス	2	電気法規および施設管理	2	ネットワーク工学	2	電子回路工学II	2	プラズマエレクトロニクス	2	電気法規および施設管理	2	電機システムII	2	電気回路IV	2	オプトエレクトロニクス	2	電気法規および施設管理	2	計算機ソフトウェア	2	デジタル電子回路	2	高電圧・パルスパワー工学	2	電気法規および施設管理	2	計算機ハードウェア	2	電子回路工学I	2	電子デバイス工学	2	電気法規および施設管理	2	システム工学	2	電気回路III	2	電気電子材料	2	電気法規および施設管理	2			電気回路II	2							電気回路I	2						
電機設計/CAD製図	2	センサ工学	2	電気応用	2	ロボット工学	2																																																																																																														
LSI工学	2	電力システムII	2	アンテナ・伝送工学	2	電波・通信法規	2																																																																																																														
電気電子システムPBL	2	電力システムI	2	エネルギー変換工学	2	電気法規および施設管理	2																																																																																																														
電気電子システム実験c	3	エネルギー変換工学	2	電気法規および施設管理	2	制御工学II	2																																																																																																														
電気電子システム実験b	3	電子物性論	2	電気法規および施設管理	2	情報通信工学	2																																																																																																														
アナログ電子回路	2	パワーエレクトロニクス	2	電気法規および施設管理	2	ネットワーク工学	2																																																																																																														
電子回路工学II	2	プラズマエレクトロニクス	2	電気法規および施設管理	2	電機システムII	2																																																																																																														
電気回路IV	2	オプトエレクトロニクス	2	電気法規および施設管理	2	計算機ソフトウェア	2																																																																																																														
デジタル電子回路	2	高電圧・パルスパワー工学	2	電気法規および施設管理	2	計算機ハードウェア	2																																																																																																														
電子回路工学I	2	電子デバイス工学	2	電気法規および施設管理	2	システム工学	2																																																																																																														
電気回路III	2	電気電子材料	2	電気法規および施設管理	2																																																																																																																
電気回路II	2																																																																																																																				
電気回路I	2																																																																																																																				
前期・後期		<table border="1"> <tr> <td>基礎電気計測</td><td>2</td> <td>計算機プログラミング</td><td>2</td> <td>電気電子システム実験a</td><td>3</td> <td>電気電子システムI</td><td>2</td> </tr> <tr> <td>電磁気学III</td><td>2</td> <td>電気電子システム入門</td><td>2</td> <td>電磁気学I</td><td>2</td> <td></td><td></td> </tr> <tr> <td>電磁気学II</td><td>2</td> <td></td><td></td> <td></td><td></td> <td></td><td></td> </tr> <tr> <td>電気数学</td><td>2</td> <td></td><td></td> <td></td><td></td> <td></td><td></td> </tr> </table>												基礎電気計測	2	計算機プログラミング	2	電気電子システム実験a	3	電気電子システムI	2	電磁気学III	2	電気電子システム入門	2	電磁気学I	2			電磁気学II	2							電気数学	2																																																																														
基礎電気計測	2	計算機プログラミング	2	電気電子システム実験a	3	電気電子システムI	2																																																																																																														
電磁気学III	2	電気電子システム入門	2	電磁気学I	2																																																																																																																
電磁気学II	2																																																																																																																				
電気数学	2																																																																																																																				
分野		キャリア形成の基礎			工学の基礎			数理学と教育			その他連携科目			電気電子基礎			実験・演習・設計			電気電子回路			材料・物性・デバイス			エネルギー・電気機器			システム科学・通信																																																																																								
カリキュラムポリシー		<p>工学部ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を備えた人材を養成するために、以下のような方針に基づいて必要科目を開設し、学習者が主体的に学習できる科目を選択し取り入れるとともに、科目間の連携を図り体系的カリキュラムを編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 人文科学、自然科学、情報技術、経営、知的財産および環境共生などに関する科目により、技術者に求められる幅広い教養を養う。 継続した教育によって、英語による基礎的なコミュニケーション能力を養う。 必修・選択（選択科目を含む）科目によって、専門分野の基礎知識を体系的に身につけ、特に重要な科目については、履修機会を確保して保証する。 実験・実習・探究演習（Project Based Learning, PBL）科目によって、自らの「能動的」に学習する能力、理論的思考力ならびにコミュニケーション能力やチームワークの意識を養う。 就職活動や研究に関する科目によって、就職活動や研究活動に必要な応用知識を養う。 学士課程教育の質的向上と卒業研究によって、論文をまとめる理論的思考力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力など、実践力のある専門的技術者として必要な能力を養う。 <p>◆注：「3」 4) 5) 6) を明確化したものが、各学科のDPとなる</p>																																																																																																																			
アドミッションポリシー		<p>電気電子システム工学科は、今日の電気・電子工学の進歩に対応でき、明日の電気・電子工学を開拓できる知識と実践力を持つエンジニアを世に送り出すことを目的としています。電気・電子工学は目覚ましい発展を遂げてその領域も多岐にわたり、単なる一分野の専門知識だけでは不十分で、今後は幅広い専門分野の知識がますます重要となります。さらには、人や環境に調和した技術の開発が求められています。</p> <p>〈求める人物像〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 広く電気・電子工学に興味を有する人で、行動力のある実践的なエンジニアをめざす人 これまでに学んできた知識を進化させて「ものづくり」に応用する意欲のある人 人や地球環境に配慮した工学技術に興味を持ち、持続可能な社会の発展に貢献する技術者をめざす向上心のある人 																																																																																																																			

ディプロマポリシー		<ul style="list-style-type: none"> 電気電子工学に関する基礎的理論と複合的な専門的知識、さらに応用技術まで幅広く理解し、広い視点と倫理性に基づいて、先端技術動向やニーズを踏まえた総合的な判断力によって研究の実践、課題解決ができる。 電気電子工学に関する専門的技能を有し、技術的課題解決のため、他者との協働、外国語を含めたコミュニケーションやプレゼンテーションができる。 																																																																																											
配当単位数合計		13単位			20単位			配当単位数合計		14単位		10単位		10単位		6単位		8単位		6単位		8単位		95単位																																																																					
M2 M1		前期・後期		<ul style="list-style-type: none"> ●: 必修科目 <table border="1"> <tr> <td>グローバルテクノロジー特論b</td><td>1</td> <td>材料・デバイス開発実務特論</td><td>3</td> <td>ロボティクス特論</td><td>2</td> <td>エンジンリアリシング・コミュニケーション特論</td><td>1</td> <td>CAD/CAM特論</td><td>2</td> <td>グローバルテクノロジー特論a</td><td>1</td> <td>航空宇宙工学特論</td><td>2</td> <td>自動車工学特論</td><td>2</td> <td>グローバルリーダーシップ特論</td><td>2</td> <td>応用数学特論</td><td>2</td> <td>技術経営特論</td><td>2</td> <td>国際ナショナルプレゼンテーション</td><td>1</td> <td>フィールド研究</td><td>4</td> <td>フィールドプラクティス</td><td>4</td> </tr> <tr> <td>応用物理学特論</td><td>2</td> <td>外国語特論</td><td>2</td> <td>数理解科目</td><td colspan="2">学際科目</td><td colspan="2">専門横断</td><td colspan="2">分野</td> <td>光・エレクトロニクス</td><td colspan="2">情報・通信</td><td colspan="2">エネルギー・機器</td><td colspan="2">制御・システム</td><td colspan="2">材料・機械工学</td><td colspan="2">熱・流体</td><td colspan="2">設計・製作</td> </tr> <tr> <td colspan="4">共通横断</td> <td colspan="12">共通横断</td> <td colspan="4">電機・制御分野</td> <td colspan="4">機械工学分野</td> </tr> </table>												グローバルテクノロジー特論b	1	材料・デバイス開発実務特論	3	ロボティクス特論	2	エンジンリアリシング・コミュニケーション特論	1	CAD/CAM特論	2	グローバルテクノロジー特論a	1	航空宇宙工学特論	2	自動車工学特論	2	グローバルリーダーシップ特論	2	応用数学特論	2	技術経営特論	2	国際ナショナルプレゼンテーション	1	フィールド研究	4	フィールドプラクティス	4	応用物理学特論	2	外国語特論	2	数理解科目	学際科目		専門横断		分野		光・エレクトロニクス	情報・通信		エネルギー・機器		制御・システム		材料・機械工学		熱・流体		設計・製作		共通横断				共通横断												電機・制御分野				機械工学分野				95単位	
グローバルテクノロジー特論b	1	材料・デバイス開発実務特論	3	ロボティクス特論	2	エンジンリアリシング・コミュニケーション特論	1	CAD/CAM特論	2	グローバルテクノロジー特論a	1	航空宇宙工学特論	2	自動車工学特論	2	グローバルリーダーシップ特論	2	応用数学特論	2	技術経営特論	2	国際ナショナルプレゼンテーション	1	フィールド研究	4	フィールドプラクティス	4																																																																		
応用物理学特論	2	外国語特論	2	数理解科目	学際科目		専門横断		分野		光・エレクトロニクス	情報・通信		エネルギー・機器		制御・システム		材料・機械工学		熱・流体		設計・製作																																																																							
共通横断				共通横断												電機・制御分野				機械工学分野																																																																									
カリキュラムポリシー		<ul style="list-style-type: none"> 「専門」に「エレクトロニクス・情報分野」、「電機・制御分野」を置き、学士課程教育で培ったエンジニアとしての能力をさらに高度化する。また、高度な基礎理論から最新の応用技術にわたる幅広い専門知識と先端技術のみならず、最新の専門的理論や最先端の応用技術を体系的に修得する。同時に国内外の関連する文献を調査・要約・整理してまとめた内容を的確に伝達する能力を養成するとともに、国内外での研究発表を通じて、自身の考えや研究成果を的確に伝達できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身に付ける。 「専門横断」では、研究分野の専門知識・技能を深めるとともに、他の工学分野と共通する工学知識や技術を修得する。 「共通横断」では数理解分野、語学から社会倫理におよぶ幅広い知識を修得することにより、ユニバーサルな観点に立った的確なもの見方と考え方を確立する。 																																																																																											
アドミッションポリシー		<p>「エレクトロニクス・情報分野」「電機・制御分野」において、高度な専門知識やスキルを駆使し、また、機械工学の知識を加味することで、社会・産業界が求める最新の技術開発ができる高度な技術者を養成する。また、社会貢献するという強い意志と自身の考えに基づいて解決能力を持って、それを実現するために努力を惜しむことなく邁進できる学生を求めている。</p> <p>(求める人物像)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「エレクトロニクス・情報分野」、「電機・制御分野」の基礎と応用技術を修得し、新しい技術開発に携わり、積極的に社会貢献したいと考えている人 自然環境との共生を伴った社会の発展のために、自ら努力して成長していく意欲のある人 人間的な成長および自己実現をめざす向上心を持ち、共同作業の重要性を認識し実行できる人 																																																																																											
ディプロマポリシー		<p>4年以上在学して所定の単位を修得し、授業や卒業研究を通じて、下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定し、学士(工学)の学位を授与する。</p> <p>＜工学部＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 実践力のある専門的技術者となるべく、在学中だけでなく生涯にわたって主体的に学修活動を積み重ねる関心と意欲を持てる。(関心・意欲)【主体的に生涯学習を継続する意欲と関心】 人文社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身につけそれを活用できる。【知識・理解・技能】【技術者に求められる文・理・情報系の素養】 専門分野の知識・技術を体系的に理解し、社会や時代の要請に応じてそれらを実践的に活用できる。【理解・応用・技能】【専門分野の知識・技術(詳細は学科DP)】 技術者および社会人としてよきまわしいコミュニケーション能力を備え、他者の意見・意向を正確に把握するとともに、自らの意見・意向を的確に表現し、相互理解のもとで議論することができる。【協働・表現】【相互に理解し議論するコミュニケーション能力】 社会的な課題の解決に向けて、他者と積極的に協働して取り組むことができる。【意欲・協働】【他者との協働による課題解決力】 地球的な視野に立ち、持続的な社会の維持・発展に向けた技術者としての使命感や倫理観を備え、社会に能動的に貢献する行動ができる。【理解・応用・倫理】【社会に対し能動的に貢献する行動力】 <p>◆注: 「3」を明確化したものが、各学科のDPとなる</p> <p>＜電気電子システム工学科＞</p> <p>電気電子システム工学科では、工学部ディプロマ・ポリシーに基づき、専門学術の基礎と実践力を継承できるよう、学科として下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定する。</p> <p>(A) 社会で必要とされるエンジニアとしての基礎力である数学・自然科学の基礎知識と電気電子工学分野の基礎知識に習熟しそれらを活用することができる。【基礎学力】</p> <p>(B) 電気電子システム工学の基礎知識を活かし、技術的な課題を抽出し解決に導くことができる。【知識・理解・論理的思考力】【知識・理解・論理的思考力】</p> <p>(C) 理論的な思考に基づき自分の意見を明確に発表でき、他者との討議を通じて互いの意見を理解しながらチームで課題解決の作業をすすめることができる。【コミュニケーション能力】【コミュニケーション能力】</p> <p>(D) 持続可能な社会を実現するために、未知の課題に対応できるよう、幅広い学修経験に基づいて自主継続的に学修することができる。【継続学修】【継続学修】</p> <p>(E) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、および技術者が社会に対して負う使命と倫理的責任に基づいて行動することができる。【技術者倫理】【技術者倫理】</p>																																																																																											
分野別到達目標		卒業		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		卒業に必要な単位数124単位																																																																					
配当単位数合計		18単位			13単位			16単位		14単位		18単位		20単位		99単位																																																																													
2 4		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		16単位																																																																					
1		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		46単位																																																																					
1		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		25単位																																																																					
1		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		12単位																																																																					
分野		キャリア形成の基礎		工学の基礎		数理解科学と教育		その他連携科目		電気電子基礎		実験・演習・設計		電気電子回路		材料・物性・デバイス		エネルギー・電気機器		システム科学・通信		卒業研究		年間履修上限単位数44単位																																																																					
カリキュラムポリシー		<p>＜工学部のシステム・ポリシー＞</p> <p>工学部ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を備えた人材を育成するために、以下のような方針に基づいて必要な科目を開設し、学習者が主体的に学修できる科目選択を取り入れるとともに、科目間の連携を効果的に図るべくカリキュラムを編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 人文科学、自然科学、情報技術、経営、知識情報などに関する科目によって、技術者に求められる幅広い教養を養う。 継続した英語教育によって、英語による国際的なコミュニケーション能力を養う。 必修・選択(選択必修を含む)科目によって、専門分野の広範な知識を体系的に身につける。特に重要な科目については、履修機会を確保して保証する。 実験・実習・探求演習(Project Based Learning, PBL)科目によって、自発的・継続的に学修する能力、論理的思考力ならびにコミュニケーション能力や協働への意識を養う。 卒業論文に関する科目によって、就職者としての応用能力ならびに倫理観を養う。 学士課程教育の最大限とする卒業研究によって、論文をまとめる論理的思考力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力など、実践力のある専門的技術者として必要な能力を養う。 <p>◆注: 「3」 4) 5) 6) を明確化したものが、各学科のDPとなる</p>																																																																																											
アドミッションポリシー		<p>電気電子システム工学科は、今日の電気・電子工学の進歩に対応でき、明日の電気・電子工学を開拓できる知識と実践力を持つエンジニアを世に送り出すことを目的としています。電気・電子工学は目覚ましい発展を遂げてその領域も多岐にわたり、単なる一分野の専門知識だけでは不十分で、今後は幅広い専門分野の知識がますます重要となります。さらには、人や環境に調和した技術の開発が求められています。</p> <p>(求める人物像)</p> <ol style="list-style-type: none"> 広く電気・電子工学に興味を有する人で、行動力のある実践的なエンジニアをめざす人 これまで学んできた知識を進化させて「ものづくり」に応用する意欲のある人 人や地球環境に配慮した工学技術に興味を持ち、持続可能な社会の発展に貢献する技術者めざす向上心のある人 																																																																																											

Table with columns for 13 units, 20 units, 14 units, 10 units, 12 units, 6 units, 8 units, 6 units, 8 units, and 97 units. Includes course titles like 'グローバルテクノロジー特論b' and 'エンジニアリング・コミュニケーション特論'.

「専門」に「エレクトロニクス・情報分野」、「電機・制御分野」を置き、学士課程教育で培ったエンジニアとしての能力をさらに高度化する。また、高度な基礎理論から最新の応用技術にわたる幅広い専門知識と先端技術のみならず、最新の専門的理論や最先端の応用技術を体系的に修得する。...

「エレクトロニクス・情報分野」「電機・制御分野」において、高度な専門知識やスキルを駆使し、また、機械工学の知識を加味することで、社会・産業界が求める最新の技術開発ができる高度な技術者を養成する。また、社会貢献するという強い意志と自身の考えに基づいて解決能力を持って、それを実現するために努力を惜しまず邁進できる学生を求めている。

4年以上在学して所定の単位を修得し、授業や卒業研究を通じて、下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定し、学士(工学)の学位を授与する。
<工学部>
1) 実践力のある専門的技術者となるべく、在学中だけでなく生涯にわたって主体的に学習活動を積み重ねる関心と意欲を保持できる。...

分野別到達目標
グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的知識を備え、広い視野から社会的責任を認識し、主体的に社会に貢献する能力を身に付ける。...

Table with columns for 18 units, 13 units, 16 units, 14 units, 18 units, 20 units, and 99 units. Includes course titles like '電機設計/CAD製図' and '電気電子システムPBL'.

Table with columns for 2 units, 4 units, 3 units, 2 units, 1 unit, 16 units, 46 units, 25 units, and 12 units. Includes course titles like '微分方程式I(2)', '線形代数III(2)', 'キャリアデザイン(1)'.

Table with columns for 'キャリア形成の基礎', '工学の基礎', '数理学と教育', 'その他連携科目', '電気電子基礎', '実験・演習・設計', '電気電子回路', '材料・物性・デバイス', 'エネルギー・電気機器', 'システム科学・通信'.

電気電子システム工学科は、今日の電気・電子工学の進歩に対応でき、明日の電気・電子工学を開拓できる知識と実践力を持つエンジニアを世に送り出すことを目的としています。電気・電子工学は目ざましい発展を遂げてその領域も多岐にわたり、単なる一分野の専門知識だけでは不十分で、今後は幅広い専門分野の知識がますます重要となります。...

